

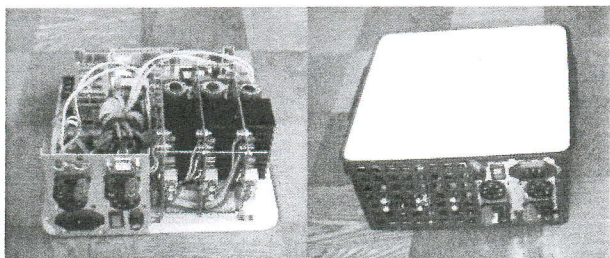
マルチアンプシステム

なるべく小型で軽量なマルチアンプシステムの構築を目指して各コンポーネントをまとめています。

1. 3chパワーアンプ
2. デジタルチャンデバ
3. 3ch DAC

の3点です。今回は1, 3の紹介です。(2は一部)

1. 3chパワーアンプ



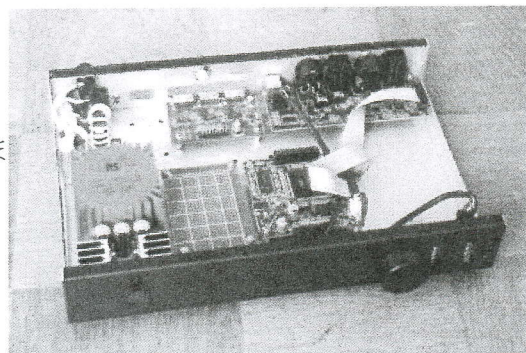
軽量化のためにはやはりデジタルアンプですのでTIのTAS5630を使った中華基板のアンプを3台まとめてケーシングし、使いやすくしました。
ノイズ対策をしていますのでデジタルアンプながら音の方もまあまあです。

外形 25x25x12cm 重量 2.55kg
 ゲイン 32dB
 入力 不平衡(RCA&9Pコネクター)
 出力 80W~150W(8Ω)/ch (バナナ&8Pコネクター)
 電源 AC100~240V

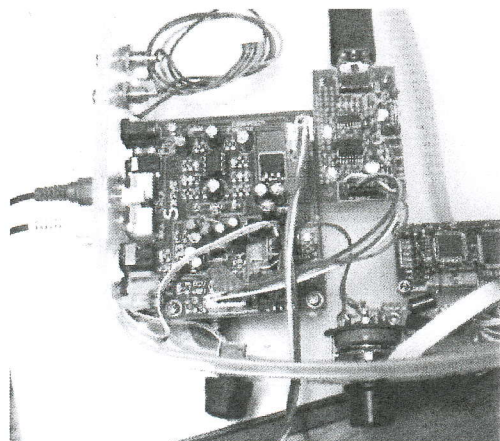
2. デジタルチャンデバ

miniDSP社のminiSHRKitkitを使用。本体はI2S4ch入出力のデジタルチャンデバ基板で、オプションのコントロール基板(VOL-FP)のI/O基板(DIGI-FP)でSPDIFならほぼ繋げるだけで簡単にシステムが組みます。

自家用としては最終的にLVDSのI2S(HDMIコネクター)入出力を備える予定です。



3. 3ch DAC



DACチップはES8038Q2Mのこれも中華基板を3枚使い1ケースに組み込む予定。結線は専用の1ケーブルタイプにしたい。

DACはノイズ対策のために少し改良するとかなりのレベルになる。ES9023も考えましたが、やはりこちらの方が一枚上手の音なのでこちらをメインにする予定です。